

会員募集

当法人の目的に賛同し、活動にご協力いただける個人または団体を、募集しています。

リヴォルヴ学校教育研究所の活動は、多くの皆さまの善意に支えられています。私達は今後一層の研究に励み、活動を充実させてまいります。皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

正会員	個人	5,000円
	団体	10,000円
	学生	2,500円
賛助会員	個人1口	3,000円
	団体1口	10,000円



入会いただいた方には、会報をお届けするほか

- * 当法人主催イベントへの参加割引
- * 当法人が発行する出版物の割引購入などの特典があります。

入会希望の方は、ファックス・郵送のいずれかにて、氏名・住所・電話番号・会員種別・口数・メールアドレスを明記の上、リヴォルヴ学校教育研究所二の宮事務所宛お申し込みください。

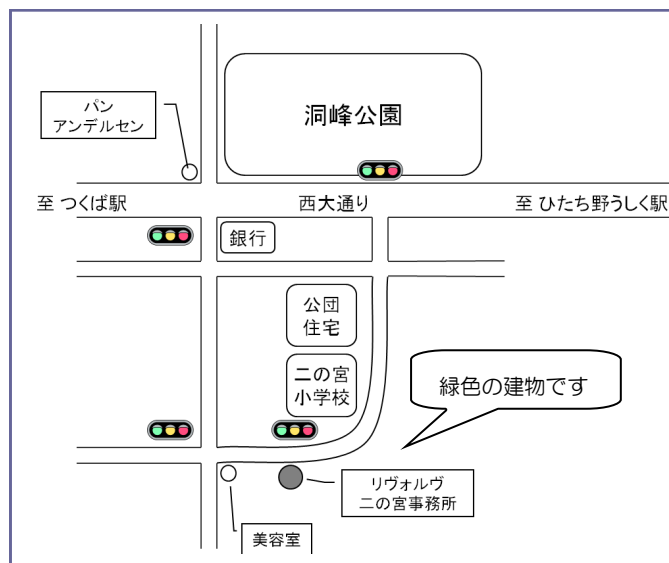
ホームページからもお申し込みいただけます。

■会費振込先

郵便局 口座記号番号 00120-5-171173
特定非営利活動法人リヴォルヴ学校教育研究所

常陽銀行研究学園都市支店
店番104 普通1822778

事務所へのご案内



NPO法人(特定非営利活動法人) リヴォルヴ学校教育研究所



二の宮事務所

〒305-0051

つくば市二の宮4-3-2 二の宮コーポC 101

TEL 029-856-8143

FAX 029-896-4035

E-mail rise@cure.ocn.ne.jp



ライス学園 谷田部教室

〒305-0861

つくば市谷田部2983 (アラキヤさん2F)

TEL&FAX 029-836-8447



NPO 法人(特定非営利活動法人)

リヴォルヴ学校教育研究所



誰が悪いとか、何のせいだとか
そんなことを言うのはやめにしませんか。

それよりも、私たちとっしょに
小さな一歩を踏み出しませんか！



REVOLVE
Institution of School Education

活動の趣旨

大切な子ども達の教育が、他人まかせで良いはずがありません。そもそも教育は、国や地方公共団体によって保証されるべきものではあっても、それらによって施されるべきものではありません。今、第一に取り組むべきは、子ども達の教育を人まかせにしないという私達自身の意識改革でこそあると、私達は考えます。

リヴォルヴ学校教育研究所設立の目的は、民間レベルからの改革を実際の行動により提案することにあります。

私達は、「ライズ学園」の運営を通じて学校教育のあり方を模索するとともに、教育に関するセミナー、ワークショップの開催、さらには「学びの地域ポータルサイト：いばらきマナビィ・ネット」の運営に参画し、子ども達の健やかな育ちに少しでも貢献したいと願っています。

リヴォルヴ学校教育研究所
代表 小野村 哲

リヴォルヴという名称には、「滞らず、新しい局面に対応できる柔軟性をもった組織」でありたいという願いが込められています。

また、ロゴマークの茶色の部分は地域社会を、rの文字を形取った緑の部分は地域社会に根づいた新芽を表現しています。



おもな活動



1. 小さな地域立学校を目指して ～ライズ学園の運営～

私達は、既存の学校にうまく適応できずにいる子ども達のための小さな学校「ライズ学園」の運営に取り組んでいます。元公立学校の教師や臨床心理士など、豊富な経験をもつベテランスタッフと活気にあふれる若手スタッフが、算数や国語、英語などの学習をサポートするほか、専門家を招いてのスポーツ、絵画造形、調理教室、野菜作りなど体験的な学習も積極的に取り入れています。現在5台のコンピュータがインターネットに接続されており、CAI学習も行っています。



また、ライズ学園での活動状況を月ごとに各家庭と学校にお知らせし、登園を出席扱いにさせていただくなどしています。

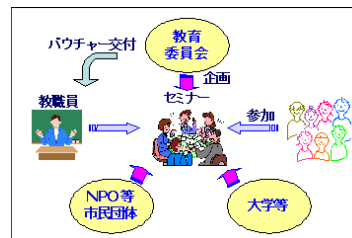
同じく月に一度の保護者会では、経験豊富なカウンセラーが保護者の皆さんの悩みに耳を傾けています。

2. セミナー・ワークショップの企画・運営

各分野のスペシャリストを招き、不登校やLD（学習障害）など、子ども達のつまずきへの理解を深めるための公開講座を開催しています。

また、私達は教職員研修のバウチャー制を提唱し、教職員と一般市民がともに学ぶなど、より開かれた質の高い研修の実現を目指しています。

教職員研修のバウチャー制



3. いばらきマナビィ・ネットの活動

私達は、学校をもっと魅力的な学び、育ちの場とするための活動にも取り組んでいます。地域に暮らす人々の協力が得られたならば、子ども達の学びはもっと豊かなものになるはずで、学校まで行くことは無理でも、学習を進める中で抱いた疑問に答えていただくなど、もっと多くの人々の手で子ども達の育ちを支えることはできないものでしょうか。



私達は、2003・2004年度文科省委嘱「NPO等と学校教育との連携の在り方についての実践研究」事業に参加し、のべ223名の社会人講師（ゲスト・ティーチャー）の学校訪問をコーディネートしました。また、学校に行っていないみんなのためのカルチャー教室も開催しています。

4. 教材開発

活動の成果物として「ひらがなれんしゅうちょう」「ABC英語れんしゅうちょう」、「ひらがなえほん」を出版。また、ひらがな・英語の学習ソフトも製作しています。

独自に開発した教材は、新聞各紙やNHKでも取り上げられ、全国の国公立私立幼小中学校で利用されています。

インターネット上でも、独自に開発した各種教材を配信しています。

